

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	春日市	代表者名	春日市長 井上澄和
担当者部署	経営企画部	連絡先電話番号	092-584-1118
担当者役職	主査	担当者氏名	持田 誠一
		連絡先E-mail	*****
住所	816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山澤 浩幸
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	市職員として長年情報政策に携わられた経験を基に、本市が自治体情報システムの標準化・共通化を進めるに当たって留意すべき点について、的確なアドバイスをいただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	2023年10月27日	支援・助言	有	2023年12月22日	1114
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	2023年12月22日	支援・助言	11時00分	12時00分	0
				活動時間（分）	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・ガバメントクラウドにおける運用管理領域の管理主体 ・共通機能標準化における留意事項	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	標準化移行の準備に当たり、なすべきことを把握する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・ガバメントクラウドにおける運用管理領域を構築する際は、ベンダーロックインとならないように将来のベンダ変更に必要な作業を契約書に明記すること。そのうえで、運用トラブルリスクが少ない主要ベンダーに構築・管理を担ってもらうことが望ましい。 ・標準仕様でどう構築するかはベンダーにより異なるため、主要ベンダーの方針に従って運用方法を習得するしかない状況である。特に他社との連携に留意すべきであり、メインベンダーの連携方針・仕様を早期に他社に提示する必要があります。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・標準化移行の準備に当たり対応すべき事項を把握できた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	標準準拠システムへ円滑に移行し、システムの安定稼働を図ること。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

